

【位置図】

～頻発化・激甚化する豪雨からいのちを守る流域治水対策の推進～

- 平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害や、気候変動による豪雨の頻発化・激甚化が懸念されていることを踏まえ、事前防災対策を進める必要がある。
- 堤防や河道掘削等河川整備のほか、田んぼダムやため池を活用した雨水の貯留などの流域対策を推進し氾濫をできるだけ防ぐ。
- 河川情報の充実やハザードマップの作成・周知、出前講座の実施などにより、確実な避難や経済被害の軽減、早期復旧復興に努める。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ①洪水氾濫対策
- ②ダムの洪水調節機能の強化※この水系にダムはありません。
- ③内水氾濫対策【江田島市】
- ④雨水貯留機能の向上
- ⑤山地の保水機能の向上【広島県】
- ⑥土砂流出対策

等

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

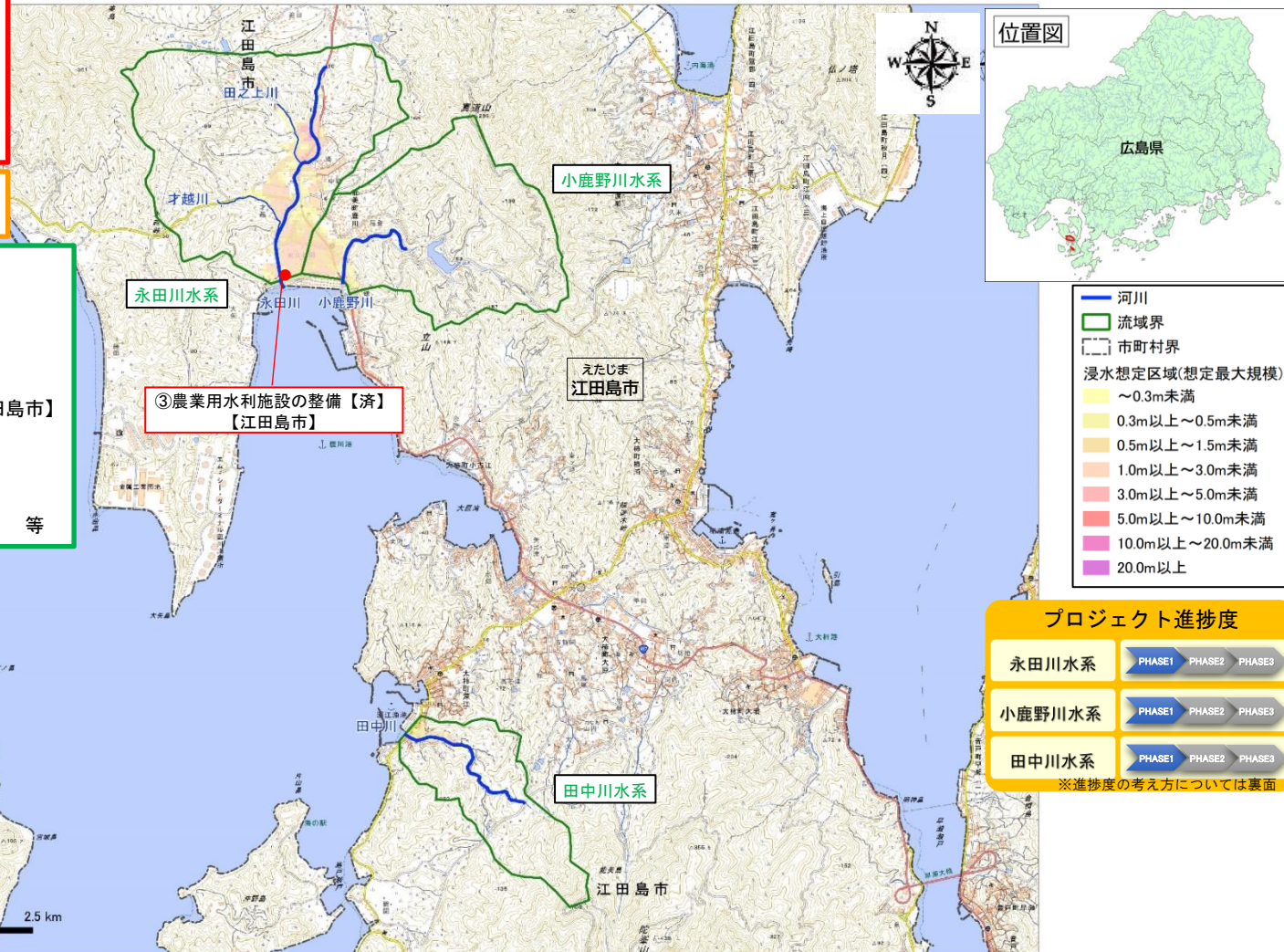
- ⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫

等

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ⑧ハザードマップの作成・周知
 - ・洪水ハザードマップの作成・周知【江田島市】
 - ・出前講座等を活用した防災教育【広島県、江田島市】
 - ・マイ・タイムラインの作成及び活用の促進【江田島市】
- ⑨高齢者等避難の実効性の確保
 - ・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進【江田島市】
 - ・避難行動要支援者への支援【江田島市】
- ⑩防災体制の強化
 - ・情報伝達手段の多重化促進【江田島市】
 - ・水防訓練の実施【江田島市】
 - ・関係機関との各種連携【広島県、江田島市】

等



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

○ 永田川・小鹿野川・田中川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市、住民が一体となって次の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害に対し、再度災害防止を最優先として治水対策を実施。

【中期・中長期】更に流域全体の安全度を向上させるため、引き続き治水対策を実施。あわせて、水災害リスクを考慮したまちづくりの推進や、ハザードマップの作成・周知等、的確な避難行動につなげるためのソフト対策の充実を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	③内水氾濫対策	江田島市	農業用水利施設の整備		
	⑤山地の保水機能の向上	広島県	森林整備、治山事業		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	⑧ハザードマップの作成・周知	江田島市、 (広島県)	洪水ハザードマップ作成済		出前講座等にて周知
	⑨高齢者等避難の実効性の確保	江田島市	要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進		
	⑩関係機関との各種連携	広島県、江田島市	関係機関との各種連携		

気候変動を踏まえ、
更なる対策を推進。

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

プロジェクト進捗度の考え方

- PHASE1 流域の関係者が治水対策を進めている段階
- PHASE2 流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を進めている段階
- PHASE3 流域で流量を分担するなどし、流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を計画的に進めている段階